

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族皆様で参加しましょう

7.13

孟蘭盆会法要

12時(正午)から新盆法要、午後1時から法話、2時からお盆法要

7.23

大施餓鬼会法要

午後1時から法話、2時から法要

9.22

秋彼岸法要

午後1時から法話、2時から法要

10.28

鬼子母神祈願法要

午前11時から

お知らせ

大本山總持寺参詣 日帰りバス研修視察

10月上旬の平日、横浜・鶴見の「大本山總持寺参詣と横浜中華街での親睦食事会」の日帰りバス研修視察を企画しています。

檀家様、それ以外の方も参加できます。昨年5月に大本山永平寺に参詣しましたが、もう一つの大本山總持寺へ皆さんでお参りしましょう。

※参加ご希望の方は萬福寺受付へお申し込みください(仮申し込み)。

仮申し込みをされた方にはご案内状を郵送させていただきます。正式なお申し込みはその後になります。よろしくお願い申し上げます。

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

梶原殿の会場使用料(通夜・葬儀、2日間)
・檀信徒 10万円～20万円 ・一般 20万円～30万円
※予算は密葬、本葬のご人数で異なります。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

お花まつり

平成24年4月8日(日)

お

生を祝う「花まつり」が行われました。花御堂の中の「浴

仏盆(水盤)に安置された天と地を指差した誕生仏のお釈迦様に、参拝者それぞれが小さな竹の柄杓で

甘露をかけてお祝いました。お釈迦様の発掘調査に安本ご住職様が関与！

花まつりの後、安本ご住職様は資料(ルンビニーの法話/ブッダの誕生、解脱の使命をもつてお釈迦様は生まれた、など)を

基にお釈迦様誕生の地ルンビニー(ネパール)の遺跡について説明されました。

二十数年前、私は全日本仏教会の国際文化局長をしていた頃日本で世界の仏教会の会議があり、お釈迦様誕生の地を発掘する決議がなされました。3年間は準備に追われ、4年目からほぼ10年で色々なことが明らかにになりました。



発掘には国際文化局長として関与しましたので、少なからず縁があります。

お釈迦様誕生の地ルンビニーの中心にマヤー堂があり、傍にあるアショーク石柱には古代文字がくっきりと彫ってあります。「アショーク帝王(紀元前3世紀、インド・マウリア朝第3代の王)が、王位20年目にここへ来られた。そしてお釈迦様がこの地で生まれたことを示す石柱を建てられた。お釈迦様が誕生した地を守る代わりに、この地方の税金を8分の1にした」といった内容が書いてあります。

発掘には、日本の仏教会や学者が研究協力しています。お釈迦様誕生の地を示す印石(標識石・マヤーストーン)を発見したのも日本の学者で、日本仏教会として画期的な成果をあげました。

これによってお釈迦様が実在していたことが証明されました。宗教界では想像が多くなか、この事実をもっと宣伝していいのではないか、と思います。

このあと大書院の入口付近に飾ってあるお釈迦様誕生の図3点について説明がありました。

〔寄稿〕

大田区 加藤京子

15年程前に萬福寺にお墓を建て、主人のよき散歩路でした。平成15年に主人が亡くなり、当時を想いつつ短歌を書かせていただきます。

金木犀好みし夫は花も見ず

突然に逝く秋の夕暮れ(平成15年9月20日)

苦しみに耐えて過ぎし日々なれど

娘に看取られし夫は幸せ

銀杏散る二人で建てし墓所

われ置き去りに夫は入りたり

躊躇いつつ投稿せし

短歌入選 懸崖の菊今盛りなり

「おめでとう」拍手によぎる夫の顔

見て欲しかった受賞の涙(平成15年11月3日)

「ドロフィー」を仏前に置き報告す

「よかった、よかった」遺影微笑む

(大田区短歌会)

人ひとりおらぬ菩提寺落葉舗道

亡父と語らう九回忌命日(23年9月)

編集後記

ご先祖の霊を迎え、また送るお盆。この時期はご先祖様だけでなく、お中元のご挨拶や家族・親戚揃ってのお墓参りなど、普段ついで無沙汰の方との出合いの時期でもあります。また、ふるさとへ里帰りされる方もありましょう。

人との出合いを大切にしたいと思ながらも、現代社会のあわただしさの中では、なかなか思うようにいかないのも現実です。ましてや、自分と向き合う静かな時間を持つのは至難のことかもしれません。

今年から、護持会の研修委員会では、写経の会を催しております。本号記事にもありますが、お寺の静かな一室で心をこめての写経のひとときと、参加の方々とお茶をいただきながらの語らいの楽しさを体験してみませんか。お寺での新しい出合いの機会に、ぜひ皆様お出かけください。